

新ひだか町福祉教育研修会



避難所運営ゲーム〈HUG〉

12月14日(土)、新ひだか町公民館において、北海道高等学校PTA連合会日高支部、新ひだか町福祉教育推進協議会の共催で、「こどもの命を未来につなぐために私たちができること」をテーマに、避難所運営ゲーム(以下、HUG)を実施しました。

「HUG(ハグ)」は、災害が発生した際に、住民が避難所の運営者になるという想定のもと、避難所の図面や避難してくる人の情報が記載されたカードを用いて、グループの中で知恵を出し合いながら判断していくゲームです。

当日は、管内高等学校のPTA、民生委員や自治会役員といった大人だけではなく、会場で東日本大震災の義援金の募金活動をしていた静内高校の学生も参加し、参加者全員で、災害への備えや地域の助け合いについて考え、想いを共有する機会となりました。

「HUG(ハグ)」とは？

Hinanzyo(避難所) Unei(運営) Game(ゲーム)の頭文字をとったもので、英語で「抱きしめる」という意味です。避難者を優しく受け入れる避難所のイメージと重ね合わせて名付けられています。